

夜のアートイベント・シリーズ『上野夜公園』が始動！  
～第1弾は 2016年12月24日(土)、25日(日) 上野公園不忍池にて開催～



2016年冬、上野「文化の杜」新構想実行委員会は、夜のアートイベント・シリーズ『上野夜公園』を始動します。『上野夜公園』は、公園内の博物館・美術館の夜間開館に合わせ、上野公園の新たな魅力を発見してもらうべく開催するものです。

この『上野夜公園』では、2017年3月まで、公園各所で行われる様々なプログラムを用意。現在は昼のお出かけスポットとして賑わっていますが、日本初の公園として開園した明治時代には、夜の盛り場としても様々な人が集ったといえます。昼間のイメージが定着している上野公園の新たな楽しみ方を提案していきます。

その第1弾として2016年12月24日(土)、12月25日(日)には、10月に開催したイベント『TOKYO数寄フェス』で不忍池一帯をライトアップして好評を博した「ミナモミラー」を再演します。

また、この他にもミュージアムコンサート、公園散策ツアーなど多彩なプログラムを順次予定しています。内容は決定次第、ウェブサイト等にて順次お知らせいたします。

### 『上野夜公園』開催概要

名称：上野夜公園(うえのよるこうえん、英語名称：UENO PARK NIGHT EVENT SERIES)

期間：2016(平成28)年12月24日～2017(平成29)年3月 随時開催

会場：上野恩賜公園 各所

主催：上野「文化の杜」新構想実行委員会

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

協賛：株式会社伊藤園

公式ウェブサイトURL：<http://nightpark.tokyo>

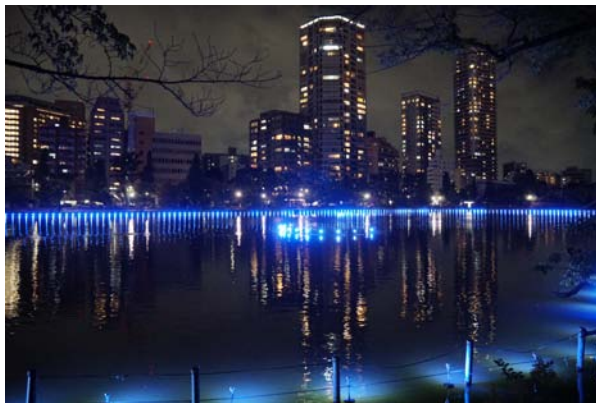
平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

平成28年度 台東区 上野「文化の杜」新構想事業

## 【上野夜公園 第<sup>ゼロ</sup>夜】ミナモミラー

第1弾は「第0（ゼロ）夜」と称し、『TOKYO数寄フェス』にて発表された作品「ミナモミラー」を再演します。

不忍池をキャンバスにたとえ、光を不忍池に投影します。風の流れによって時間とともに変化する、水面にたゆたう反射光を楽しむ作品です。不忍池のボート池全周、池に浮遊するオブジェを淡く柔らかい光が囲みます。現実の世界と水面に映し出された世界に結界をなくし、ひとつにします。冬の澄んだ空気と夜空の下、幻想的な世界をお楽しみいただけます。



### 上野夜公園 第0夜「ミナモミラー」(再演)概要

日時：2016(平成28)年12月24日(土)、25日(日)

日没後～20:00

場所：上野恩賜公園 不忍池(ボート池)

入場無料、申込不要

### アーティスト紹介

#### ■鈴木太郎

1973年、東京・葛飾生まれ。2005年東京藝術大学大学院修了。自然界の物理現象を観察、その魅力の綿密な考察と理解から、根源的な美しさをもつ作品を生み出すメディアアーティスト。独自の発想や高度なテクノロジーに支えられ、時間軸上に抽出される「物質」や「光」の動きや変化は、鑑賞者に純粋な感動やおどろきを伝える。国内外多数の国際展に参加、公共空間へのインストール、またアトリエオモヤ代表としてその世界を広げ、いずれも高い評価を得ている。現在、東京藝術大学美術学部デザイン科准教授。



#### ■東京藝術大学美術学部デザイン科 空間・演出研究室

素材のほか、光や動きなど造形の諸要素を自由に取り入れ、これらの特性を生かした空間表現の可能性を研究。また、テクノロジーなど新分野との融合も含めた、デザインの新しい領域を開拓している。社会に対するアプローチや企業とのコラボレート、大学間連携を含めた実践的創作活動をおこなう。



#### 上野「文化の杜」新構想とは？

上野の文化施設が連携し、文化資源の宝庫である上野の潜在能力を発展させるための新しい構想です。文化庁が提唱し、東京都、台東区等と連携して事業を推進しています。

実行委員会では、「UENO WELCOME PASSPORT」のほか、文化芸術イベントの開催や上野地区ポータルサイト [ueno-bunka.jp](http://ueno-bunka.jp) の運営を行っています。

#### 《お問合せ》

本リリースの内容、またはご取材に関するお問合せ

上野「文化の杜」新構想実行委員会事務局（担当：<sup>ひがき</sup> 桧垣、富沢）

TEL：03-5834-2396 FAX：03-5834-2397 E-Mail：[ubmtomizawa@gmail.com](mailto:ubmtomizawa@gmail.com)

内容は変更になる場合があります。